

令和6年度裾野市地域公共交通活性化協議会(第4回)議事録

日時:令和6年10月31日(木)15:00~16:30

場所:裾野市役所 401 会議室

・出席者 別添資料 No.1のとおり

1. 開会

2. 会長挨拶

深良小でのバスの乗り方教室が開催された
公共交通を積極的に利用していく意識を持っている

3. 委員及び出席者紹介

名簿により代える

4. 議事

(1) 8月開催の書面協議結果について(報告事項1)

【資料No.4】

資料により説明

【質疑】

質疑なし

(2) 地域公共交通計画の認定について(報告事項2)

【資料No.5】

資料により説明

【質疑】

質疑なし

(3) 裾野市内循環線バスの利用状況について(報告事項3)【資料No.6】

資料により説明

【質疑】

(藤井委員):朝夕便の追加でどう変わったかの調査で、新規の潜在的な利用者が顕在化した、夕便の利用は朝に比べて半分くらいなので、夕便を遅らせてどの程度の利用者が見込めるのかも考えて今後検討してもらいたい。

短縮したルートでもこれまでの利用者が引き続き使っているのかどうか、往復という形で使っているのかも分析して行ってほしい。これまでの調査が結果に出ているのか確認して行ってほしい。

(4) 高齢者バス・タクシー利用助成券の利用状況について(報告事項4)【資料No.7】

資料により説明

【質疑】

中川(ミツワ交通)委員:昨年度使ってなくても交付した?2年使用していない方には郵送しない方法もあると考える。

事務局:そのとおり。2年使用していない人への郵送については検討していく。

藤井委員:交付に対して利用が7割~8割の自治体もある、助成金の額の違いもあると思うが、2千円を使い切っていないのであれば使いやすくしてあげるのかどうか、検討してほしい。全く使わない人もいる?

助成券は使い勝手をよくして使い切ってもらえるようにする方法もある。

事務局:前年度も利用が6割を切っている状況。全く使わない人もいるし、少しだけ使う人もいる。

岩井委員:交付枚数が増えているということだが、どこの地区の人が交付を多く受けているのか、データは取っているのか。どの地区の人が利用しているかなど、データ分析は有効だと思う。

事務局:確認できるようにデータはとっているが、現時点では整理していない。データを分析していく。

(5) 高齢者バス・タクシー利用助成券について(協議事項1)【資料No.3】

資料により説明

【質疑】

中川(ミツワ交通)委員:上限撤廃は良い変更だと思う。利用回数を増やすのが当初の目的だったともうが、タクシーに関しては利用減少にならないと思う。助成券があるなら車よりタクシーを使うというひともいるかもしれないと考えている。

渡邊(富士シティバス)委員:使用期限があるが、お客様が古いものを持ってくる場合がある。期限をなくしてほしい。

事務局:年度ごと色を変えるなどを行っているが、期限があることを周知していく。

原田委員:国土交通省で交通空白専門部会を立ち上げていて、バスタクシーの助成券について、事業者から情勢県はありがたいが、紙だと清算手続きが事務の負担増になっていること。長泉町の助成券のマイナンバー利用により負担が減ったという話も聞く。

事務局:電子媒体での対応は今後検討していく。

挙手多数により承認

藤井委員：利用率は確実に上がってくるだろうと思う。バス・タクシーによって一回に使う金額が異なるため、事情が変わるが、利用の裾野を広げて、利用しやすくする方向にしたことで結果がどう出るか分析してほしい。助成を使わずとも地域のつながりで解決している場所もある、ニーズと合致していない地域を把握してほしい。データを分析を引き続き進めてほしい。

5. その他

【富士急バスから報告】

令和6年の4月19日、バス車内に乗客を残したまま車庫に9時間閉じ込めてしまった。翌日の運転手が発見し、警察、運輸支局に報告した結果、行政処分を受けた。再発防止に努めるとともに信頼を得られるようにしたい。

【議会提言について】(追加資料)

内容は資料により説明

9月30日付で市議会より提言を受けた。

事務局：次回会議は1月頃の実施を予定している 改めて開催通知等送付する。

勝又(教育部長)委員：富市小の再編統合について、10月の中旬に富岡地区全体に再編の案内チラシを回覧した。富市小の生徒について、スクールバスで送迎する。朝1便、帰りは最大3便用意。

中川委員(ミツワ交通)：生徒しか乗らないものか。

勝又(教育部長)委員：そのとおり。下和田から富一小までノンストップになる。途中下車はない。

6. 閉会